

明大教授 司法試験問題漏えい

岐路に立つ明治大学法科大学院

順位	法科大学院	受験者	合格者	合格率
1	中央大学	475	170	35.8%
2	慶應義塾大学	347	158	45.5%
3	東京大学	305	149	48.9%
4	早稲田大学	471	145	30.8%
5	京都大学	240	128	53.3%
6	一橋大学	142	79	55.6%
7	神戸大学	149	72	48.3%
8	明治大学	363	53	14.6%
9	大阪大学	165	48	29.1%
10	北海道大学	147	42	28.6%

(2015年 新司法試験法科大学院別合格者数ランキング)

圧倒的に
低い合格率 ↓ 補助金
35%ダウン

まはいつも玄関の外まで出てきて、角の道を曲がるまでニコニコしながらお互いに手を振り合っています。本当にいつまでも新婚さんのように仲がいい。お帰りの日も早く、とても規則正しい生活をしてらっしゃいます」

当の女性は法務省から「今後5年間の受験禁止」を通告されてしまった。この女性は九州の進学高から創立100年以上になる地方大学の法学部に入學。在学中に複数の国家資格を取得して、特待生として学校のサイトでも紹介されている。大学卒業後に明治に進み、ここで青柳教授と出会った。1度めは不合格。今回は2度めの受験だった。彼女を知る人物は「色白で清楚な感じの女性」と言うが、実際、青柳教授は「かわいがっているコだから合格さ

「青柳先生からは直接憲法の講義を受けていました。なかなか厳しい先生でしたけど、女性に甘く、女の口を食事に誘うという話は先輩からも聞いていました。今度のことは怒りですよ。女の口ばかりえこひいきして。僕なんか1回も食事に誘われたことがありませんよ」(院生)

明治大学法科大学院の青柳幸一教授(67)が、20代の女子学生に、自らが作成に関わった司法試験の問題と模範解答を教えていたことがわかり、法務省が刑事告発した。

「今回、漏洩された問題はA4用紙2枚にびっしり書かれており、それを2時間で解く。学生に考察や意見を書く

余裕はありませんから、ほぼ覚えた知識を羅列するだけで終わってしまう。逆に言えば、考察や意見が的確に入っていれば、事前に指導を受けた疑いが高い」とベテラン弁護士。実際、女性の得点はほぼ満点だったと報道された。

女性に甘いことで有名だった青柳教授とはどのような人物なのか。司法試験審査委員の一人はこう言う。

「青柳先生は憲法の審査委員13人を取りまとめる主査をされていたので、リーダーシップがありました。押しつけがましいことはせず、紳士的な方です」

一方、自宅近所の住民はこう話す。「毎朝9時30分ごろに青柳。が大学に出勤するんですけど、専業主婦の奥さ

せたかった」と、好意が理由だったと認めている。ただし、もし女性側が問題漏洩をそのかした場合、女性も罪に問われる可能性が高く、女性を守ろうとしているのかもしれない。

一方、今回の問題はもっと根深い話するのは、司法試験改革に詳しい高山俊吉弁護士だ。

「法科大学院が発足したのは'04年ですが、74もの法科大学院が乱立して、合格率はずっと落ちている。それで、'04年に7万2千800人もいた法科大学院の志願者は、'14年には1万1千450人にまで減ってしまっただけ。文科省は'15年度から補助金の見直しを始め、合格率の低い明治は35%も減額されました」

補助金を考えると、大学側はなんとかしても合格者数を増やしたいのだ。

「いまの司法試験は誰でも受けられるものではなく、2年なり3年なり、教授の薫陶を受けて挑戦するのが当たり前になっていました。この制度が続く限り、同じ問題が起きる」(高山氏)

青柳教授は、筑波大学の法科大学院を経て、'11年4月に明治大学に来了。ある学生が言う。

「筑波大学法科大学院の司法試験合格率は、青柳先生がいた'10年には25・6%だったのが、'11年には73%に落ちている。筑波大でも問題を流していたのではないかと疑ってしまいます」

今回の一件は、たんなる男女問題ではなく、国の根幹を揺るがす大問題なのだ。

